

羽場久美子ゼミでは、「EU 研究」「比較政治」の二つの講座を開講しており、EU 研究では、拡大 EU および現代のヨーロッパ政治研究、比較政治では、EU と東アジアの地域統合比較やナショナリズム論、民主主義論、冷戦研究の比較研究をしています。それぞれについて、次のようなシラバスを出しています。

<<2009 年度大学院シラバス>>

国際政治額演習 羽場久美子

専攻名：国際政治学 専攻
授業科目名：国際政治学会 総合演習（拡大 EU 論、冷戦研究、東アジア地域統合との比較研究）

<講義概要>

国際政治における、拡大 EU の文献、冷戦終焉・体制転換後 20 年の欧州国際政治の諸問題、民族や民主主義の問題を考える。また比較政治の手法を用いて、ヨーロッパとアジアの地域統合、ヨーロッパとアジアの冷戦体制やナショナリズムの比較検討を行う。

また修士論文、博士論文作成のための指導を行う。

近年の興味深い文献としては、

EU Enlargement, Region Building and Shifting Borders of Inclusion and Exclusion, ed. By James W. Scott, Ashgate, 2006.

Labour, Employment and Social Policies in the EU Enlargement Process, ed. By B. Funck, The World Bank, Washington DC., 2002.

Europe after Enlargement, ed. By Anders Aslund & Marek Dabrowski, Cambridge University Press, 2007.

Paul Taylor, *The End of Europe Integration , Anti-Europeanism Examined*, Routledge, 2008.

Cristopher Lord & Erika Harris, *Democracy in the New Europe*, Palgrave, 2006.

The Shape of the New Europe, Civil Society, Confederation, ed.by Ralf Rogwski and Charles Turner, Cambridge University Press, 2006.

Anthony Giddens, *Europe in the Global Age*, Polity Press, 2007. などがある。

あわせて、それぞれの研究報告を行い、ヨーロッパ国際関係に関する、研究指導、論文指導を行う。

[教科書・参考書]

羽場久美子・小森田秋夫・田中素香『ヨーロッパの東方拡大』岩波書店、2006。

羽場久美子『拡大ヨーロッパの挑戦』中公新書、2004。

Josep M. Colomer, *Comparative European Politics*, Routledge, 2008.

Jan Zielonka, *Europe as Empire, The Nature of the Enlarged EU*, Oxford, 2006.

[主題と目的]

2008年の経済危機とオバマ政権の誕生以降、冷戦終焉後に一時軌道修正され他国際関係が音を立てて変化している兆しがある。それをどう読むかに力を注ぎたい。またそうした「国際規範の変容」に、EUの国際規範—ブッシュJrのイラク戦争に対抗して2003年に出された、「欧州国際戦略」「近隣諸国政策」、具体的には、単独行動主義批判、武力による民主化批判、近隣諸国との特にエネルギー関係での協力関係の構築、世界の3分の1が飢える地域への経済的支援と世界の安定化、などが、これまでの単純なPowerが移行分析への現実的な批判となっていると思われる。

また、経済危機以降、各国の市民意識が「経済」と生活安定・社会保障に集中してきており、国際関係を語る際にもこれらを抜きに政治状況を分析することはできない。

そのように、現代の国際関係を規範的にとらえる際に、EUを抜きに考えることはできない。他方で、EU自体も多くの問題を内部に抱えている。EUの規範やそれに基づく規制自体が、「規制帝国」と揶揄される側面も持ち、また移民政策においてもEUが掲げる「人権」「欧州市民」としての平等と、実際の市民間に広がる強力なゼノフォビア（外国人嫌い）の間の齟齬が、各国で右翼政党の伸長を生み出している。

にもかかわらず、EUの社会保障政策は、格差が広がる先進国各国で見直されつつある。

現代社会を分析する上で極めて有効な視座を提示するEU研究を、院生の皆さんの関心とも併せつつ、鋭く、問題提起的に、検討していきたい。

[内容と構成] 上記に準じる。

[評価基準] 研究内容の鋭さ、有用性、研究態度によって判断する。

[専門領域] 国際関係論、国際政治、ヨーロッパ政治史

[研究テーマ]

拡大EU、拡大NATO、冷戦研究、デモクラシー論、ナショナリズム論、地域統合論

[主要研究業績]

<主要研究業績>

<著書> 単著 5、編著 6・共著 16、翻訳書 6 計 33冊の研究業績がある。

<単著> (5冊)

5. 『拡大ヨーロッパの挑戦—アメリカに並ぶ多元的パワーとなるか』中央公論新社、258p.2004、2006年²刷
4. 『グローバル化と欧州拡大—ナショナリズム・地域の成長か』御茶ノ水書房、63p.2002,2005年²刷
3. 『拡大するヨーロッパ 中欧の模索』岩波書店、229 p.+7 p. 1998、2005年⁴刷。
2. 『統合ヨーロッパの民族問題』講談社現代新書、250p,1994、2004⁷刷。
1. 『ハンガリー革命史研究—東欧におけるナショナリズムと社会主義—』勁草書房、508+58p. 1989年。

<編著・共著> (6+16:22冊)

< 6 English Books 英語 6冊>

6. 50 Years Rome Treaty and EU-Asia Relations, Ed. by Chong-ko Peter Tzou, Tamkang University, Taiwan, July 2008. 394p.
(Kumiko Haba, “The Lesson of the EU Enlargement and the East Asian Community and Shanghai Cooperative Organization---What and How we can learn from the European Integration?” pp.269-274.)
5. Melting Boundaries, Institutional Transformation in the Wider Europe, Kiichiro Yagi and Satoshi Mizobata eds., Kyoto University Press, 2008. 376p.
(Kumiko Haba, “EU Enlargement, Border Question and Wider Europe”, pp.331-352.)
4. *Intercultural Dialogue and Citizenship, Translating Values into Actions, A Common Project for Europeans and Their Partners*, Ed. by Leonce Bekemans, Maria Karasinska-Fendler, Marco Mascia, Antonio Papisca, Constantine A. Stephanou, Peter G. Xuereb, Marsilio, Venice, 2007.
(Kumiko Haba, “Democracy, Nationalism and Citizenship in the Enlarged EU, The Effects of Globalisation and Democratisation”, pp. 601-620.)
3. *Globalization, Regionalization and the History of International Relations*, Eds. By Joan Beaumont, Alfredo Canavero, Commission of History of International Relations, Edizioni Unicopli, Deakin University, Milano, Victoria, Austria, 2005.
(Kumiko Haba, “The Central and Eastern Europe Nationality problem and Regional Cooperation under the EU and NATO Enlargement”, pp. 91-102.)
2. *Russia and NATO: New Areas for Partnership, The papers of the International Conference*, February 6-7, 2004. St. Petersburg State University Press, 2004.
(Kumiko Haba, “NATO Enlargement and the Iraq War, Central and Eastern Europe under the Influence of the US”, pp.)
1. *EU Enlargement towards Central Europe and the Role of Japanese Economy*, ed. by Kumiko Haba, Palankai, Tibor, and Janos Hoos, Budapest, Hungary, 2002.
(Kumiko Haba, “European Union/NATO Enlargement and Central Europe: The Kosovo Bombing and the Radical Right”, pp.86-98.)

<日本語 編著・共著 16冊>

16. 『ヨーロッパのフロンティア』山内進編、国際書院、2008年。
羽場久美子「拡大EUのフロンティア—ポスト冷戦秩序の再構築・規範と現実」75-110p
15. 『衝突と和解のヨーロッパ—ユーロ・グローバリズムの挑戦』ミネルヴァ書房、2006。
羽場久美子「EU・NATOの拡大とイラク戦争—中・東欧の加盟とアメリカの影響」135-166p。
14. 『ヨーロッパの軌跡とベクトル』慶応大学出版会、2006年。
羽場久美子「拡大EUとナショナリズム—民主化とグローバル化の帰結」83-110p。
13. 『ヨーロッパの東方拡大』羽場久美子・小森田秋夫・田中素香編、岩波書店、361+10p。
2006年²刷。
羽場久美子「総論 ヨーロッパの拡大—グローバリズムとナショナリズムの相克」1-28p。
12. 『新しいヨーロッパ 拡大EUの諸相』(羽場久美子編)、日本国際政治学会、2005
11. 『21世紀の安全保障と日本』ミネルヴァ書房、2005年7月。
羽場久美子「NATOの東方拡大と欧州の安全保障—コソヴォ空爆からイラク戦争へ：アメリカの影」
10. 『国際関係の中の拡大EU』信山社、2005年2月。羽場久美子「拡大EUと中・東欧、ワイダー・ヨーロッパ」
9. 『歴史としてのヨーロッパ・アイデンティティ』谷川稔編、山川出版社、2003年。329p。
羽場久美子「EUの拡大と『中欧』認識の揺らぎ」 pp. 197-218.
8. 『EUの中の国民国家：デモクラシーの変容』日本比較政治学会編、早稲田大学出版部、207p。2003。
羽場久美子「ヨーロッパ拡大とハンガリーおよび周辺地域マイノリティの『民主化』」 pp. 173-200.
7. 『21世紀国際社会への招待』羽場久美子・増田正人編、有斐閣、246 p。2003、2006²刷
羽場久美子「地域統合とグローバリゼーション：EU・NATOの東方拡大」pp.46-54.
6. 『ハンガリーを知る47章 ドナウの宝石』羽場久美子編、明石書店、348 p。2002、2003年²刷。
羽場久美子、序章、「帝国の崩壊」「西と東のはざま」「冷戦の起源とハンガリー」「体制転換」「トリアノン条約とその後」「周辺国のハンガリー人マイノリティ」「EU・NATOの拡大とハンガリー」 pp. 5-8, 55-68, 81-87, 102-108, 232-237, 252-265, 310-316.
5. 『ヨーロッパ統合のゆくえ』宮島喬・羽場久美子編、人文書院、293 p。2001、2005³刷。羽場久美子、序論、「EU・NATOの拡大と中欧—『境界線上』の民族—」 pp. 11-24, 51-82.
4. 『占領改革の国際比較：日本・アジア・ヨーロッパ』中村・油井・豊下編、三省堂、1994年。羽場久美子「ハンガリーの占領と改革」
3. 『ロシア革命と東欧』羽場久美子編、彩流社、1990年。
羽場久美子、序論、「ロシア革命と東欧」、「ハンガリー近代における知識人と『民族』」
2. 『講座国際政治』第3巻『現代世界の分離と統合』木戸翁編、東京大学出版会、1989、1990年²刷。羽場久美子「独立以前の東欧における多民族共存と地域統合の模索」
1. 『社会主義と現代世界』第1巻『社会主義革命』菊地昌典編、山川出版社1989年。
羽場久美子「東欧の革命—独自の道の挫折と再生—」

<監訳、共訳書> (6冊)

6. ジョセフ・ロスチャイルド著、羽場久シ尾子・水谷驍訳『現代東欧史 多様性への回帰』共同通信社、489+28 p. 1999年。
5. ジョセフ・ロスチャイルド著、大津留厚監訳『大戦間期の東欧』刀水書房、1996年。
4. 『世界のマイノリティ事典』(東欧の項監訳)、明石書店、1995年。
3. アントニー・ポロンスキ著、羽場久シ尾子監訳『小独裁者たち—東欧における民主主義体制の崩壊—』法政大学出版局、1993年。
2. ルカーチ・テーケイ他著、『ルカーチとハンガリー』、未来社、1989年。
1. シュガー＝レデラー編、東欧史研究会訳、『東欧のナショナリズム』刀水書房、1981。

外部資金導入状況（国からの補助金）（2000年以降のもの）

7. 2008年4月から5年間(2013年3月)
国際政治に見る欧州と東アジアの地域統合の比較研究—規範、安全保障、国境、人の移動(科学研究費、基盤A(研究代表者) 4982,8万円)
6. 2005年4月から2008年3月
一橋大学 COE プロジェクト(文部科学省補助金・助成金)(COE(研究分担者))
5. 2004年4月から2009年3月
拡大EUの境界線をめぐる民族・地域格差とヨーロッパの安全保障(アメリカの影響)(科学研究費補助金)(基盤研究(基盤研究B)(研究代表者)) 550万円
4. 2004年4月から2008年3月
米欧同盟におけるEUの「人間の安全保証ドクトリン」(科学研究費補助金)(基盤研究(B)(研究分担者)) 4500万円
3. 2004年4月から2008年3月
冷戦とアジア(科学研究費補助金)(基盤研究(B)(研究分担者)) 7000万円
2. 2002年4月から2005年3月
京都大学 COE プロジェクト(文部科学省・助成金)(COE(研究分担))
1. 2000年4月から2004年3月
EUの東方拡大と中欧政治(科学研究費補助金)(基盤研究(C)(研究代表者)) 440万円
(2000年以降の研究助成)

外部資金導入状況（受託研究・指定寄付金等）（2000年以降のもの）

6. 2008年4月から2011年3月まで
拡大ヨーロッパと東アジアの地域再編—地域統合、安全保障、社会政策の比較研究(青山学院大学総合研究プロジェクト)850万円
5. 2005年9月から2008年6月
拡大EUをめぐる諸問題—国家と民族、拡大EUの東アジア地域協力への教訓(単独)(ジャン・モネ・チェア) 360万円
4. 2005年4月から2008年3月
ヨーロッパのフロンティア(研究分担者)(一橋大学 EUIJ プロジェクト)
3. 2004年1月から2004年6月
EU拡大に伴うヨーロッパ・アイデンティティと民族・国益の相克(単独)(学術振興野村基金 海外派遣助成)
2. 2004年4月から2005年3月
国際会議補助費(研究分担者)(国際交流基金 国際会議補助費) 200万円
1. 2000年4月から2001年3月
国際会議補助費(研究分担者)(日本学術振興会 国際会議補助費) 200万円
(2000年以降の研究助成)

<<羽場久美子ゼミ・大学院修了者の進路>>
(津田塾大学、法政大学、青山学院大学を含む)

法政大学大学院社会学研究科修了者

若林、仙保、石田、宮腰、小林、高山、中澤、柴田、町田、渡部、斉藤、
塙、渡辺、平野、渋谷、木之下、高橋

大学院博士課程在学中 渋谷さん

青山学院大学国際政治経済学研究科、国際政治学専攻

大塚さん、鈴木さん、Nikolaj

(2009年度 EU 論)

西本さん、安形さん、Kou さん、牧瀬さん、Dora、

TA: 吉野さん、清水さん

東京大学公共政策大学院修了	魏さん
東京大学大学院総合文化研究科	平野さん
東京大学大学院	柳田さん
京都大学大学院医学系研究科修了	戒田さん
一橋大学社会学部修了	上杉さん
筑波大学大学院	仙保さん
東京都立大学大学院	松井さん
北海道大学経済学部修了	宮川さん
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修了	石田さん
上智大学大学院	宮田さん
津田塾大学大学院	横田さん
兵庫県立大学大学院	大泉さん

海外大学院修了

スタンフォード大学大学院修了	亀沢さん	
ロンドン大学・バーミンガム大学・エディンバラ大学大学院修了		安井さん
ロンドン大学キングスカレッジ大学院修了	伊勢さん	
オーストリア・リンツ大学大学院修了	小林さん	
オーストリア・ウィーン大学修了	北山さん	
オーストラリア・シドニー大学大学院修了	塙さん	
ハンガリー・ブダペスト大学大学院修了	黒田さん	
フランス	平原さん	
カナダ	渡辺さん	

就職

国際機関、国際関係組織、海外組織

世界銀行、米州機構	Kamezawa さん
ゴールドマン・サックス	魏さん
ユネスコ	名波さん
国連インターン	川合さん
英国郵船航空サービス・ マンチェスター支店支店長	青柳さん
国際協力事業団 (JICA)	石原さん
国際交流基金 (Japan Foundation)	田中さん
日本航空 (JAL)	本田さん、尾崎さん、土屋さん
日本国際協力システム	佐藤さん
日本貿易	横溝さん

大学

福井大学准教授	中澤さん
広島市立大学教授	大庭さん
宇都宮大学講師	町田さん
東京外国語大学 (勤務)	松本さん
法政大学 (勤務)	中村さん
日本大学 (勤務)	寒田さん
東邦大学医学部附属大橋病院	池田さん
中央学園大学中央学園高校 学校教師	石井さん
葛西さん、岩崎さん、桂さん、臼井さん、井上さん	

海外大使館勤務 (経験含む)

ジンバブエ日本大使館	佐原さん
ノルウェー日本大使館	渡部さん
ベルギー、専門調査員	平野さん

研究所、研究機関など

日本総合研究所	中島さん
ロシア・東欧学会貿易会	井上さん

国家機関

東京地方裁判所	渡邊さん
大蔵省関東財務局	山本さん

マスメディア

NHK	渡辺さん、石井さん、飯田さん
読売新聞	飯山さん、佐々木さん
朝日新聞	上田さん
毎日新聞	埴さん、横山さん
産経新聞	鎌田さん

会計事務所	竹中さん	司法書士	国分さん
-------	------	------	------